

科目区分	専門教育科目	授業科目名	栄養指導論 I				科目コード	26S601	担当者	古賀 克彦			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	1年次	開講学期	春学期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	栄養士必修			
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連								科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	学生が栄養指導に必要な理論や技術、および基本的知識を修得することを目的とする。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	課題の提出はありませんが、オフィスアワー等の時間に授業内容に関する質問に対応します。定期試験で成績不良となった学生には、追再試験中に別途時間を設けて、解説や質問の受付などを行い、理解を深める支援を行います。
授業の方法	講義形式	アクティブ・ラーニングの実施方法	授業内に過去の栄養士実力認定試験の問題を解き、解答の発表や検討を行います。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	栄養指導の概念	シラバスを読み科目の概要を確認しておくこと。また教科書の「栄養指導の概念」の部分を予習しておく。	第9回	栄養状態の評価と栄養調査① 「栄養状態の評価」	教科書の「栄養状態の評価」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	
第2回	栄養指導の歴史と現状①	教科書の「栄養指導の歴史と現状」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第10回	栄養状態の評価と栄養調査② 「栄養調査」	教科書の「栄養調査」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	
第3回	栄養指導の歴史と現状②	教科書の「栄養指導の歴史と現状」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第11回	栄養指導に必要な基礎知識① 「栄養指導の基礎知識としての理論・モデル」前半部分	教科書の「栄養指導の基礎知識としての理論・モデル」の部分を予め読み、予習を行っておくこと。	
第4回	栄養指導に関する主な法令① 「栄養士法」	教科書の「栄養士法」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第12回	栄養指導に必要な基礎知識② 「栄養指導の基礎知識としての理論・モデル」後半部分	教科書の「栄養指導の基礎知識としての理論・モデル」の部分を予め読み、予習を行っておくこと。	
第5回	栄養指導に関する主な法令② 「健康増進法」	教科書の「健康増進法」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第13回	栄養指導に必要な基礎知識③ 「栄養指導とカウンセリング」	教科書の「栄養指導とカウンセリング」の部分をあらかじめ読み予習を行っておくこと。	
第6回	栄養指導に関する主な法令③ 「食育基本法」	教科書の「食育基本法」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第14回	栄養指導に必要な基礎知識④ 「栄養指導で用いる教材・媒体」	教科書の「栄養指導で用いる教材・媒体」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	
第7回	栄養指導に関する主な指標① 「国民健康栄養調査」前半部分	教科書の「国民健康栄養調査」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。	第15回	栄養指導関連の諸施策① 「日本人の食事摂取基準」	教科書の「日本人の食事摂取基準」の部分を予め読み、予習を行っておくこと。	
第8回	栄養指導に関する主な指標② 「国民健康栄養調査」後半部分	教科書の「国民健康栄養調査」の部分をあらかじめ読み、予習を行っておくこと。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	栄養士のための栄養指導論 第9版/芦川修貳/学建書院	受講生へのメッセージ	栄養に関する知識を持っていても、それを相手に効果的に伝え、行動を望ましい方向へ導くことができれば、栄養士としての役割を十分に果たすことはできません。本授業では、栄養指導に必要な基礎知識の修得や、実践的な指導方法について学びます。現場で即戦力となるスキルを身につけるため、積極的に授業に参加してください。疑問点があれば遠慮せずに担当教員に質問し、理解を深めましょう。頑張ってください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

